



編集・発行

夙川地域

コミュニティ協議会

1995年
1月17日
早朝 5:46

阪神・淡路大震災

あれから30年

来年の1月17日、あの震災から30年になります。「あの時 あなたは？」と尋ねてみました。

あの時私は…

羽衣町 奥 光男

あの寒い冬の朝、阪神・淡路大震災は私たちの生活を一瞬で変えました。家は全滅し、家族が無事であることだけが唯一の救いでした。

揺れが収まった後、私たち夫婦はがれきの隙間を頼りに外へと脱出しました。その時、近所の人が照らしてくれた懐中電灯の光がどれほど心強かったことか。

私たちが無事に外へ出られた後、続いて母と子どもも家の屋根を越えて何とか脱出することができました。寒さが骨身にしみるその朝、近所の皆さんが持つてきてくださっ

たコートや靴がどれだけ私たちを温めてくれたか、言葉では表せません。

夜が明けるのを待ちながら、その場に集まった近所の皆さんと共に過ごした時間は、決して忘れることのできないものでした。

震災という試練を通して、地域の絆の強さ、そして、支え合うことの大切さを痛感しました。今もなお、あの日のことを思い出すたびに、人の温かさや優しさを感じます。



夙川グリーンタウン東側

あの時私は…

夙川西市民館事務所
徳島美奈子

ドンドンとドアをたたたく音。「市民館を開けて！」という悲痛的な声に、私は市民館へ走りました。

夙川西市民館は、地震の前々日に開館式を行ったばかりで、建物は完成していても何の備品もない中、多くの人が避難して来られました。

阪神・淡路大震災は「ボランティア元年」といわれますが、「避難所元年」でもあったのではないのでしょうか。

当時「避難所」とは？を誰もが全く分からないままで、いつの間にか「避難所」になっていました。避難所として



夙川に架かっていた小さな橋

認められたのは、ずっと後のことです。

地震当日は200人からの人が詰めかけ、体を横たえることすらできず、ひざを抱えて一晩を過ごしました。今なら、こんな避難のあり方は大問題でしょう。

初めてののおむすびが篠山の婦人会から届いたのは、翌日だったと思います。そんな中、それぞれが持ち出した物でのぎました。避難所としての運営も避難している人たちが、自然発生的に行われました。人と人との良いつながりが、それを可能にしたのだと思います。

避難所が閉鎖されたのは、この年の8月末でした。



片鉾池あずまのの前

阪神・淡路大震災 『宮っ子』編集員の 「あの時 あなたは？」

あの時のこと、忘れないために改めて確認し、語り継いでいくことは大切です。それぞれの思い、話し合ってみませんか？

神戸市東灘区のマンション1階で被災。ジェットコースターに乗っているようなすごい揺れが続き、家具は横や縦に動き、食器棚の食器は投げ出されていました。外に出るとシーンと静まり返り、寝間着姿で布団を羽織った住民の姿などが見えるだけ。
あんなにひどい状態になっ
ていることは、その時は
全く思いもありませんで
した。

70代 女性

中学生の時、神戸市の隣で被災し、自宅の壁にはヒビが入り、ガスや電気もストップ。自然の脅威を痛感したことを覚えています。また、神戸市の大きな火災で家が全焼した親戚たちがわが家に避難し、祖母や両親、いとこたちとお互いの無事を確認し合い、安心感から涙していた光景は今でも忘れられません。

40代 女性

名古屋市の住んでいましたが、地震の揺れで目が覚めました。テレビをつけると、横倒しになった阪神高速道路の高架の映像が流れていました。信じられませんでした。
こちらに引越してきて、「あの坂は地震の時にできたのよ」や「小さな子どもを抱えて苦労したわ」などじかに聞き、大変な思いをして復興されたんだなと思えました。

50代 女性

私はまだ生まれていなかったのですが、祖母からの話です。水もガスも止まり、ライフラインが戻るのには1カ月ほどかかったとのことでした。震災を経験していない私にはあまり想像がつかない話でした。震災はいつ発生するか分かりません。南海トラフ地震もうわさされていますので、避難経路の確認や非常品の備えを日頃から準備しておきたいです。

20代 男性

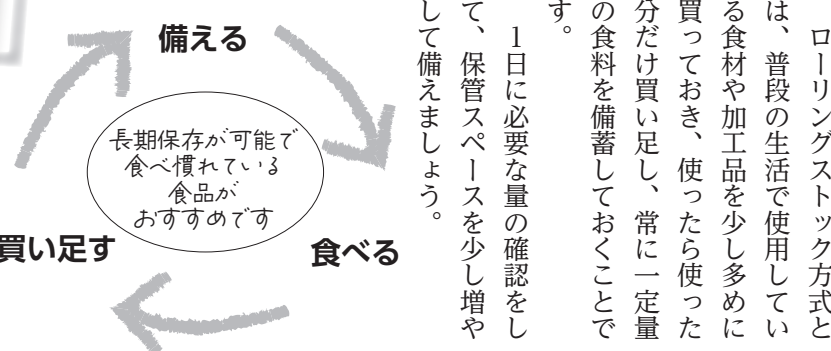
大阪に居ました。兵庫が大変なことになっているのに、隣の大阪は普通に生活できることに大きな違和感を持っていました。でも、近くのスーパーマーケットの棚は空っぽでした。
武庫之荘に住んでいた友人が毎日自転車で神戸大付属病院に通っていたので、防じんマスクを届けていたのを思い出しました。

60代 女性

私自身は幼かったため記憶には残っていません。当時、愛知で暮らしていた家族から話を聞いたところ、テレビやラジオでしか状況が分からなかったとのこと。高速道路や電車、民家などの被害を知り、ひどく驚き、多くの人が無事であることを願ったそうです。

30代 女性

ローリングストック方式で 無理なく無駄なく備蓄しませんか 常に備蓄品のある状態にしましょう。



大規模な災害が起こると、まず災害発生直後から数日は人命救助が第一優先で、支援物資の配給までには時間がかかることがあります。
各家庭が自力で乗り越えるにはどんな準備が必要か、改めて考えてみませんか。

参考：西宮市HP

楽しく学ぶ
夙川公民館
 地域学習推進員会の
 講座

**サクソフォン
 サマーコンサート**

西宮市文化振興財団 共催

サクソフォン4重奏による演奏会が8月8日、夙川公民館ホールで開かれ、猛暑の中、親子連れなど160人が詰め掛けました。

来年の市制施行100周年記念行事の一環。西宮市文化振興財団が、海外でも高い評価を受けるミ・ベモルサクソフォンアンサンブルによる演奏会を市内公民館で開催して

きました。

演奏会ではジブリやディズニーなどのアニメにちなむ曲の他、ジャズのスタンダード、クラシックの名曲も交えて多彩な曲を披露。ソプラノ、アルトテナー、バリトンそれぞれの音域、音色を生かしたアンサンブルが繰り出され、聴衆は聞き入っていました。

えびす宮総本社

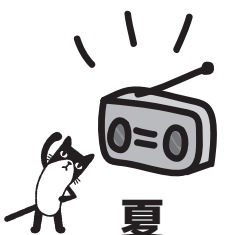
西宮神社

「えべっさん」の名で親しまれる西宮神社。えびす信仰の謎を明かす講演会が8月23日、開かれました。同神社禰宜の吉井良迪よしなちさんが、40人を前に同神社が漁業の神から商売の神へ、庶民の神様へと広がっ

ていく過程を解説しました。

吉井さんは、室町時代、神社近くに住んでいた人形操り師、傀儡くぐし子が諸国を回ってえびす信仰を広めたと指摘。江戸時代になり、本殿を再建した四代將軍徳川家綱から、えびす神の御神影おみえの独占的発行権を授かったことが、神社隆盛をもたらしたと強調しました。

その他、十日戎あさひの開門行事やおこしや伝説など、同神社と西宮の街との関わりを知る機会になりました。



夏休み

早朝ラジオ体操

今年の夏も暑かったですね。連日「危険な暑さ。熱中症に注意」というニュースが流れていました。

そうした中、夏休み恒例のラジオ体操が地域内の3カ所で行われました。早朝、6時30分からのラジオ生放送に合わせて、みんなで体操します。健康維持だけでなく、1日の生活リズムを整えるとともに、地域の人や友だちと会えるのが楽しみで、大勢の人が集まってきた。



高塚自治会主催

公園に入りきらないほどの人が参加した郷免公園
 郷免町 御茶所町 自治会主催



これからの講座予定

健康講座

講師 永野彩乃 (西宮協立脳神経外科病院看護部)
 11月19日(火) 14:00~15:30
 夙川公民館ホール 無料 定員190人
 共催 夙川地区社会福祉協議会

異常気象と災害への備え

講師 林保奈美 (南気象予報士事務所)
 12月7日(土) 14:00~15:30
 第2集会室 無料
 定員40人 申込日11月20日(水)~

新春コンサート

出演 大塚善章(p) 長野昭子(vn) 岩田晶(b)
 1月19日(日) 14:00~15:30
 夙川公民館ホール 無料
 定員190人 申込日12月13日(金)~
 共催 夙川自治会 夙川地区社会福祉協議会

詳しい内容は回覧、掲示ポスター、西宮市HP(公民館イベント)をご覧ください。
 内容・日程が変更になる場合があります。
 事前にご確認ください。

問い合わせ 夙川公民館 TEL 33-1928

サル出没!

今年8月、西宮市内のさまざまな所でサルの目撃情報がありました。夙川地域でも10日に大谷町、16日に郷免町という住宅街で目撃されています。無理に捕獲するより、時間がかかっても、自然に山へ戻っていくのを見守るのが良いようです。

- サルにえさを与えない・見せない
- サルに近づかない
- 戸締りをきちんとする

(家の中に侵入することもあるので)

参考:西宮市HP

早く山に帰ってね



校舎の日陰に集まって体操!!
 夙川小学校
 夙川地区青少年愛護協議会主催



木々に囲まれ、すがすがしい郷免公園
 高塚自治会主催

初めての子どもは力を入れ過ぎて手が痛くなったり、リズムを取るのに苦労したりしていましたが、練習していくうちに上手になり、楽しくなりました。 夙川民踊クラブの指導で、



真剣に練習する子どもたち

7月24～26日まで、夙川公民館で行われた「ひびけ!! 夙川太鼓」。27、28日に夙川公民館北広場で開催される夙川まつりの太鼓の練習に、小学生58人が参加しました。



やぐら周りでは、おなじみの「キッズチアダンス」から始まり、その後は子ども太鼓の練習成果がやぐらの上で披露され、それに合わせた盆踊りの輪が広がっていきました。 太鼓をたたいていた夙川小学校3年生の男子は「大勢の人がいて緊張したけれど、踊るのも太鼓をたたくのも楽しかった。また来年も参加したいです」と。その保護者も「法被を着て、踊りや太鼓を一生

太鼓に合わせて盆踊りの練習もしました。 まつり当日は、広場いっぱいを使って地域団体からの模擬店が数多く出され、それぞれに長い行列ができていました。 大鼓に合わせて盆踊りの練習もしました。

大鼓に合わせて盆踊りの練習もしました。



大社中学校の生徒も出店



踊りも覚えたよ!

懸命にたく子どもたちの姿は、とてもすてきでした」といって声を寄せました。

夏だ 摩耶だぜ

キャンプだ ホイ!

夙川地区青少年愛護協議会 主催

8月20日から1泊2日で行われた「キャンプだ ホイ!」に、小学2年生から6年生までの28人が参加しました。

出発日は朝まで雨が降っていましたが、途中、神戸市立森林植物園を散策。摩耶山に到着後は霧も晴れ、「カ



穂高湖のカヌー体験

ヌー体験」や「暗夜行路(五感を研ぎ澄ましオモシロ体験!?)」なども予定通りにできました。

神戸市立自然の家で宿泊し、2日目は野外炊飯屋食づくり「夏だ、キャンプだ、カレーだ!」。火

おこしと調理に取り組み、クラフト工作の焼き板も作りました。

班のメンバーと、キャンプリーダーとして同行した「げたサン」こと平脇幸雄さんをはじめ、「西宮アウトドアリーダーズコミュニティ」のリーダーたちと共に過ごした2日間。暑い暑い夏休みのすてきな思い出になったのではないのでしょうか。



森林植物園を散策

お知らせ

■年末おもちつき大会■
12月1日(日) 夙川小学校

■クリスマスツリー点灯式■
12月7日(土) 阪急夙川駅前広場

■たこ作りたこあげ大会■
12月14日(土) 夙川小学校

※諸事情により、中止や延期の場合があります



『宮っ子』夙川 編集員募集!

ちょこっとの空き時間を使って、『宮っ子』編集員に関わってみませんか?

夙川地域のおんなところ、こんな人を誌面にぎゅっと詰め込んで、皆さんに伝える活動です。

「文章書くななんてできないわ〜」そんな心配はいりません。編集員はみんなボランティア。できることをできる時に、ゆるゆると気楽に楽しく活動しませんか?



連絡先 浅野 TEL 26-2834